

社会福祉法人あおば福祉会
おひさま岡町保育園
2023年度（第23年度）事業報告

はじめに

2022年度より管理職が交代し、新体制でスタートしてから2年が経過しました。2023年度も新たな仲間が加わり、職員一人ひとりが楽しいと思える保育実践、自分たちの保育を語り合える「語り合いの保育」に取り組んできました。保育の自己評価（振り返りや気づき）につながるよう、保護者アンケートの実施や保護者との施設点検にも取り組みました。第三者評価受審に参加し、これまでの歴史や理念、基本方針に基づき、新たな課題の気づきにもなりました。

2023年度より、0・1歳児クラス（れんげ組）を設け、乳児クラスの少人数化と月齢幅をできる限り6か月以内になるよう編成しました。こどもの要求や成長発達、保護者との関係づくりでもより良い保育実践につながりました。

理念や基本方針に基づき、おひさま岡町の歴史を振り返り、権利を守る保育実践に取り組み、事業計画の実現に向け、職員のみなさんと共に保育実践に取り組めたと思います。

◆大切にしたい保育内容・特徴

食育・身体づくり・表現と3つの柱を大切に委員会で職員も自身の成長につながる取り組みを行いました。保護者アンケートからは、食育への理解や感謝の声がたくさん伝わってくる内容でした。また園外保育の充実に伴い、身体づくりの観点からも喜びの声が届きました。キラキラフェスティバル（こどももおとなも楽しむ文化祭）をはじめ開催し、喜びのあふれる1日にできたことを嬉しく思います。

1. こどもの入園予定

定員：90名（3歳以上児45名・3歳未満児45名）

※豊中市の表記による

一時保育事業

2. 職員体制と職員の状況

民間給与改善費適用＝1人当たり平均 9年

令和5年度4月1日現在 正規平均年齢 34.8歳 全職員 42.18歳

正規職員・・・ 17名 園長1名・副主任3名(内保育士2名・栄養士1名)・保育士13名

	氏名	年月日	異動・その他
退職者	石井 結菜	令和6年3月31日	

パート職員・・・・・・・・ 21名

常勤パート職員 12名 保育士7名 看護師2名 栄養士1名 調理員1名 子育て支援員1名
短時間パート職員 9名 保育士2名 栄養士1名 調理員1名 保育補助4名 事務員1名

安全管理・・・・・・・・ 3名

シルバー人材センター 3名

嘱託医・・・・・・・・ 4名

小児科 なんばこどもクリニック 難波 直樹 医師
歯科 カワムラ歯科診療所 河村 忠成 医師
眼科 安藤眼科 安藤 誠 医師
耳鼻科 かない耳鼻咽喉科 金井 龍一 医師

3. 子どもの安全と健康・危機管理

(1) リスクマネジメント・危機管理学習会と事故・災害対応に努める。

- ・新規策定した安全計画に基づき、非常対策訓練及び消火訓練を毎月実施し、自然災害・人的災害の学習を深めた。またBCP（事業継続計画）について、担当者と検討をはじめ、次年度には完成予定とする。
- ・児童虐待防止に向け、職員アンケートの調査結果に基づき、まとめの会議や夢かな会議で学びを実施した。
- ・コロナ感染症対策は、二酸化炭素濃度の測定に基づき、換気等、安全な環境づくりに取り組み、感染症対策に努めた。
- ・AED・心肺蘇生・エピペン講習を実施した。マニュアル（危機管理・保健・アレルギー）を活用して学習や訓練を実施した。
- ・乳幼児突然死症候群（SIDS）の防止に向けた5分チェックの徹底に取り組んだ。
- ・ヒヤリハット（43件）や事故報告（123件）、具体的事例を通し事故防止につなげ、この数年通院件数は激減した。引き続き、こどもたちの安全に努める。
- ・地域と連携を図り避難協力体制を確認し、非常出口からの避難想定訓練や小学校との連携訓練を実施した。

(2) 子どもの権利を守る保育の追求を行う。

- ・こどもの権利擁護や子どもを尊重した保育、児童虐待防止に関し、全職員の学びを年3回実施した。また、保護者への周知徹底に向け、園だより5月号で取り組み、11月号でも伝えた。
- ・人権の観点から乳幼児における性教育やジェンダーについて子育て講演会（講師：光本豊治）を実施した。
- ・プライバシーの観点から園内研修を実施した。保護者と考えあう機会までには至らなかった。

(3) 保育環境・労働環境を守るために日々の点検を行う。

- ・乳・幼児会議では、施設、遊具の使い方、ルール等の確認を行った。
- ・保健・安全・防災委員会を運営会議内に立ち上げ、2か月に1回程度討議し、リスクマネジメントに関する意識を高め、毎月の安全点検を実施した。さらに、衛生推進者（看護師）を中心にマニュアルの徹底、保護者への働きかけ、職員健診からの分析や相談など労働環境を守る取り組みを行った。

4. 保護者の願いに応え、子どもと共に育ちあう関係を大切に

(1) 法人理念や基本方針に基づきながら、地域や保育園の規模など特性を生かした保育を行う。その中で保護者の要求や願いに応え、ともに育ちあう関係づくりに力を入れる。

- ・保護者の要望を聞き取り、検討した年間行事や改善要望の実施、親睦・交流など、共感を深められるよう取り組んだ。
- ・こどもや保護者が意見を述べやすい環境整備とアンケート実施による意見やニーズの把握に努め、保護者会、4者協で協議し改善に努めた。
- ・ちいなかの会の結成は難しく、みんなで集会・合研等の呼びかけに留まった。
- ・卒園児の同窓会を開催することができ、卒園後の相談についても実施した。ボランティア受入れも実施し、保護者の要望も踏まえ、受け入れ学年を拡大した。就学前面談も例年12月に実施していたが、9月に変更したことで、より就学に向けてのおもいを共有することができた。
- ・こどもの権利擁護や子どもを尊重した保育について、おたよりを発行し、児童虐待防止に関しても要配慮家庭や虐待等権利侵害が疑われる家庭に対し、個別面談を実施し、こども安心課、保健師との連携を図った。
- ・育てる会と連携し、保護者・地域と共に稲刈り体験や子育て講演会や観劇会を実施した。

5. 地域に根差し、地域に必要とされる保育園をめざして（地域貢献事業）

(1) 地域に開かれた保育園を目指し、地域貢献事業にとりくむ。

- ・地域サークル支援として、子育てサロン『さくらんぼ』（月1回）園内の子育てサロン『ぽっかぽかクラブ』（月1回）の開催を実施した。地域（轟木公園）『ひと・まち・であい夏まつり』は2024年からの再開に向け、実行委員会に参画した。
- ・民生委員等も参画する地域ネットワーク会議に参加し、地域の状況を把握し、経営課題や分析した内容を事業につなげた。
- ・園庭開放、離乳食・給食試食会、赤ちゃんの駅事業、子育て相談・地域相談等を実施している。今年度は妊産婦を対象にしたマタニティーの会を開催した。

(2) 地域の教育機関・施設との連携を行う。

- ・幼保こ小連絡協議会への参加、地域福祉ネットワーク会議、社会福祉協議会の交流会に参加した。
- ・豊中市こども安心課や中部保健センターと連携し、モニタリング対象児の継続的な見守りを実施した。
- ・社会資源（伝統芸能館・図書館・幼保こ小・リサイクルプラザ・岡会堂）を活用し保育の充実に取り組んだ。

(3) 地域にとって大切な社会資源としての保育園をめざす。

- ・子育て講演の実施「乳幼児にとっての性教育」講師：光本豊治氏（職員）を実施した。
- ・実習生・ボランティアを受け入れ、未来の保育士養成や地域の社会資源としての役割を果たした。
- ・近隣の要望や意見を聞き、防音壁の設置や保育の工夫、保育園周辺の曲がり角が危険個所の為、ミラーの設置を地域と共に市に要望し実現した。今後も地域に必要とされる保育園をめざしていく。

6. 職員の資質向上をめざして

(1) 研修計画に基づき、職員一人ひとりの目標が達成できるよう面談を実施する。

- ・新採用面談（6月・9月）、職員面談（7月・2月）を実施した。
- ・保育の質の向上につながる職員アンケートを実施し、面談や保育園の自己評価につなげた。
- ・自己目標について、おもいを共有し、年齢・階層別に必要とされる専門知識や技術を身につけるよう、研修への参加呼びかけを行った。
- ・第三者評価の受審参加、年に1回の保育園の自己評価を行い、評価結果に基づき、保育計画に反映する。

(2) 「実践」と「学習」が結びついた研修を実施する。

- ・「子どもの発達、保健・衛生の観点からこどもの育ちを守る」園内計10回 講師：松岡太郎氏

(3) 北支部内の施設連携を図り、園外研修参加の援助を行う。【研修計画】

- ・各施設の職員より、あそび・表現（音楽・美術）・給食など、学ぶ機会を実施した。

(4) 保育実践提案

- | | | |
|-----------------------------|----------|---------------|
| ・提案 第62回全国保育問題研究会（仙台） | 保育計画 | 中西・松本（Zoom参加） |
| ・提案 第55回全国保育団体合同研究集会（福島） | 民間の経営と運営 | 福井 |
| ・提案 第55回全国保育団体合同研究集会（福島） | 5歳児の保育 | 竹田 |
| ・提案 第2回全国福祉経営研究交流会（横浜） | 人材確保 | 福井 |
| ・提案 第2回人間発達研究所（大阪） | 乳児保育 | 南 |
| ・提案 第43回民間保育園経営研究セミナー | 中長期計画 | 福井 |
| ・その他 自治体・学校、各団体より講演依頼が複数あった | | 光本 |

(5) 他施設との交流を通して学び合う。

- ・姉妹園との交流を実施した。校区内の5歳児交流を計画したが、日程調整が難しく実施できなかった。
- ・子ども財団主催の研修へ参加した。

(6) 職員の働きやすい環境づくりの整備に取り組む。

- ・福利厚生観点から、ソフトボールやバレーボールなど、職員の運動したいおもいを実現し、継続した。
- ・職員のワークライフバランスの充実に向け、有給休暇の消化率の向上や働き続けるための休憩時間の保障、ノンコンタクトタイムで、事務時間の保障について、調査を開始した。
- ・メンタルケアも含め、日々の語り合いを大切にし、個別面談や相談をできるよう取り組んだ。

7. 中長期計画に関わって

(1) 人材育成

- ・園長1名・副主任3名・乳児2名・幼児1名・フリー1名の8名で運営した。
- ・新採用職員も含め5年目未満の職員に対し、個別目標を明確にし、園内研修の充実に努め、北支部・豊中地域での連携を図り、人が育つ保育園づくりに取り組んだ。
(箕面より)譜久原、倉地 (岡町)飯塚・泉永がおひさまで学ぶ。
- ・育児相談員・スマイルサポーター(千田)の研修に参加し資格を取得した。

(2) 施設整備

総額 6,314,000円

1. 本園・空調機器(換気機能付き)更新 4,994,000円
2. 本園・LED全室取替工事 1,320,000円

その他

- ・0・1歳児クラスを編成し、活動の保障や発達要求に応じていく保育実践を行った。
- ・分園は地域との協定に基づき、児童数45名を守って運営した。

8 その他添付資料

(1) 年次有給休暇取得状況

	正規職員		パート職員
	本年分	累積	本年度分
① 平均保有日数	16.8	27.3	12.3
② 平均取得日数	15.8	17.4	10.8
取得率(②/①)	94%	63.7%	87.8%

(2) 職員研修一覧

研修の名称 研修の内容	参加研修名
施設長研修 (人事・労務・経理・制度等)	全国福祉経営交流会・経営実態調査・財務・労務管理研修 社会福祉制度・骨太方針2023・主任cafe(社会福祉経営全国会議) 経営懇セミナー(全国民間保育園経営研究懇話会) こども家庭庁・豊中こども財団・他法人研修
保育士等キャリアアップ研修 (乳児・幼児・マネジメント等)	スマイルサポーター研修 キャリアアップ研修 乳児保育・幼児保育・障害児 食育・アレルギー・保健衛生・安全対策
人権研修(府・市)	こどもの命を考える集会・性教育研修(乳幼児)・こどもの権利
保育士研修 (自治体・社協・保育士会・他)	子育て・子育て支援ネットワーク会議 保育教育施設 地域支援担当者研修・豊中こども財団 副園長交流集会・主任セミナー 全国保育合同研究集会・みんなで保育・子育てを考える集会 保育問題研究集会(全国・秋の研究集会)
防災研修(防災・救急救命)	安全計画交流会・災害時の乳幼児支援・BCP初動対応
法人研修 (歴史・制度・人権・保育内容)	他園・他施設研修 北支部実践報告研修 わらび座研修 北支部法人研修 新人研修 「仲間と共に 語り・学び・楽しい保育を」 北支部法人研修 人権研修 「ある小児科医が診た「発達障害」」 北支部法人研修 「歴史に学び、歴史をつくる」
自主研修(分野別)	健康と安全 年齢別・領域別保育講座保育問題研究会・部会(乳児・音楽)民舞(荒馬)

延べ参加人数 342名

(3) 地域活動報告

日程	参加人数	内 容
4～3月	20人	園庭開放・誕生会・親子クッキング・マタニティの会など
5月23日	5人	リズム参観・子育て講演会
12月2日	18人	おひさまキラキラフェスティバル(文化祭)

(4) 実習生・ボランティア受け入れ報告

<実習生>

	実習養成校	学校種別	期間	実習日数	受け入れ人数
1	常磐会学園大学	大学	9月4日～9月15日	10日	1人
2	大阪青山大学	大学	2月5日～2月16日	10日	1人
3	池坊短期大学	短期大学	3月4日～3月15日	10日	1人
合 計				30日	3人

<豊中市子育て支援員研修>

今年度は、豊中市子育て支援員見学実習を2名受け入れ

・10月16日17日 1名 ・1月18日19日 1名

<ボランティア>

今年度のボランティアの受け入れ小学生も含め総数は17名あった。